

米国 リボルビングの大幅減により信用残は減少基調が続く

(09年2月消費者信用残高)

発表日：2009年4月9日(木)

～ローン金利の低下で自動車ローンは増加～

第一生命経済研究所 経済調査部

近江澤 猛(おおみさわ たけし)

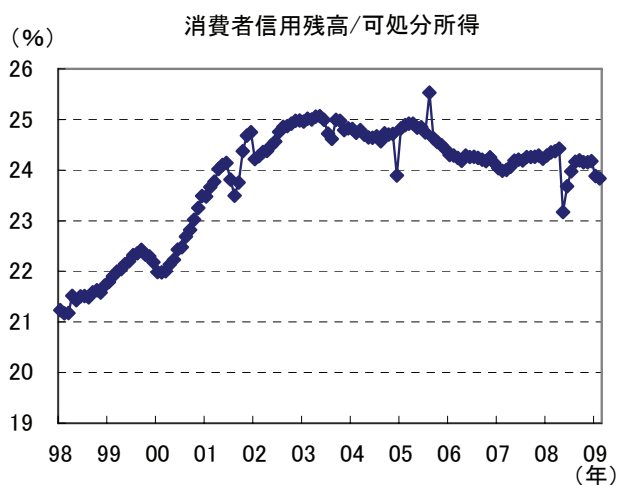
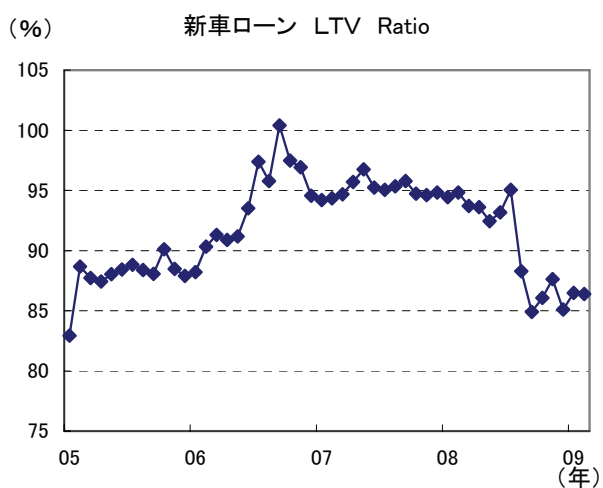
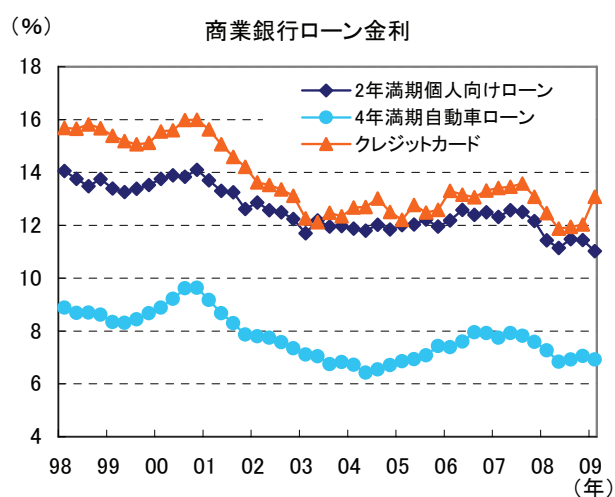
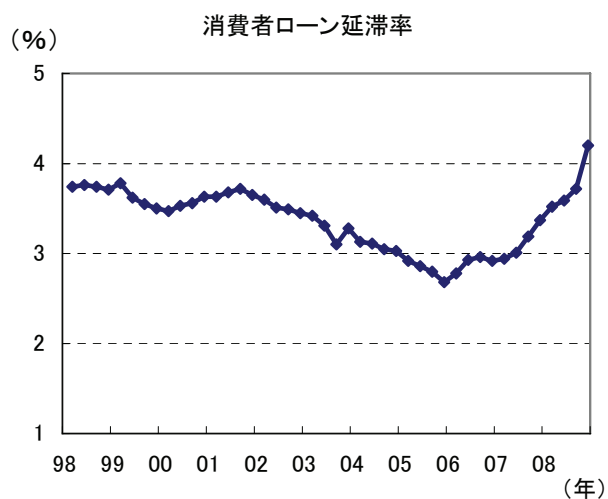
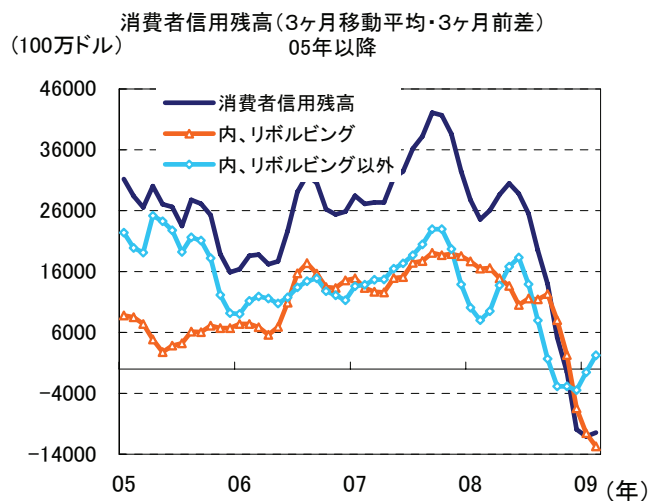
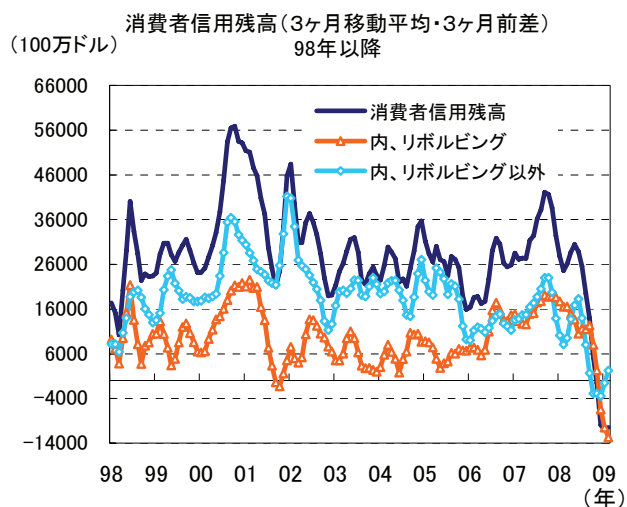
03-5221-4526

- 09年2月の消費者信用残高（季節調整済）は2兆5640億ドル、前月差▲75億ドル（前月比年率▲3.5%）と、前月同+81億ドル（同+3.8%）から減少に転じた。急速な雇用環境の悪化による消費低迷により、クレジットカードローンを中心とするリボルビングの残高減少の影響が大きい。本指標は月次での変動が大きいことから3ヵ月移動平均・3ヵ月前差でみると、小幅ながら減少幅は縮小した。金融危機を背景に個人向け融資基準が厳格化されていることに加え、急速な雇用環境の悪化から消費者マインドが低迷し消費者信用残高は減少基調にある。ただし、大幅な値引き販売やローン金利の低下を受けた自動車ローンの増加によって、消費者信用残高の減少ペースは鈍化した。
- 内訳はリボルビング（クレジットカード等）が前月差▲78億ドル（前月比年率▲9.7%）と前月同+20億ドル（同+2.4%）と大幅に減少。リボルビング以外（自動車ローン、モービルホームローン、教育ローン等）は同+3億ドル（同+0.2%）と前月同+62億ドル（同+4.6%）から減速した。
- 先行きの消費者信用残高だが、雇用環境の急速な悪化から消費者マインドは極めて低い水準に留まっていること、さらに、金融面では消費者向けローンの融資基準の厳格度合いが高い水準にあることから、借入、貸出の両面から消費者信用は下押し圧力が続き、1－3月期は（08年10-12月期▲0.75%）前期比で減少するとみられる。4－6月期はFRBによるABSの購入を通じて資金調達コストの低下が予想されるが、雇用環境の悪化による消費者マインドの低迷から、消費者信用残高は前期比で小幅な増加に留まるとみられる。

	消費者信用残高(10億ドル)			リボルビング(10億ドル)		リボルビング以外(10億ドル)	
		前月差	前月比年率(%)		前月差		前月差
08/02	2536.9	10.9	5.2	951.4	5.6	1585.5	5.3
08/03	2549.0	12.1	5.7	957.3	5.9	1591.7	6.2
08/04	2558.8	9.8	4.6	957.3	▲ 0.0	1601.5	9.8
08/05	2565.5	6.6	3.1	963.0	5.7	1602.5	1.0
08/06	2574.1	8.6	4.0	965.8	2.8	1608.3	5.8
08/07	2581.8	7.7	3.6	972.1	6.3	1609.7	1.4
08/08	2575.8	▲ 6.0	▲ 2.8	974.2	2.1	1601.6	▲ 8.1
08/09	2582.8	7.0	3.3	976.8	2.6	1606.0	4.4
08/10	2578.3	▲ 4.4	▲ 2.1	973.9	▲ 2.9	1604.4	▲ 1.6
08/11	2568.9	▲ 9.4	▲ 4.4	968.2	▲ 5.7	1600.7	▲ 3.7
08/12	2563.3	▲ 5.6	▲ 2.6	961.6	▲ 6.6	1601.7	1.0
09/01	2571.4	8.1	3.8	963.5	2.0	1607.9	6.2
09/02	2564.0	▲ 7.5	▲ 3.5	955.7	▲ 7.8	1608.2	0.3

(出所) FRB(連邦準備制度理事会)

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



(出所)FRB(連邦準備制度理事会)